

授業科目名 (サブタイトル(副題))	ボランティアの実践 (新しい自分を発見するために)		
担当者	古田 貴美子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他			
[到達目標] ボランティア活動への責任感と、社会での実践的なコミュニケーション力を身に付けることができる。			
[授業概要] ボランティア活動は、見返りを求めず、自ら進んで社会と関わり、社会の発展や他者の助けを行う活動です。大学とは異なる様々な場で活動することによって、様々な人やことと関わり、組織や様々な活動の仕方を実践的に学びます。本授業は、30時間のボランティア活動と5時間の授業を加えた通年授業で、ボランティアのあり方について深く学びます。対象となるボランティア活動は、学校から紹介されるもの、クラブ活動の中で行われるもの、地域連携推進委員会が募集するもの、居住地域での活動等のいずれでもいいですが、授業担当者の認定したものに限りです。自分が関わってみたいボランティア活動を通して、これからの社会を支える協働のあり方を具体的に学びます。他者とのさまざまな関係は、多くの深い思考をもたらします。いろいろなボランティア活動に積極的に参加し、助ける、助けられるといった単純な図式にとらわれず、どんな場面からも学べる力を身に付けてください。相手の立場に立ってものを考えられる力を身に付けることは一生の財産です。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ボランティア活動の前には、自分が参加する行事やイベントの内容に加えて、活動の目的、意味を確認してください。活動後には自らの行動を振り返り、報告書を提出してください。			
[授業計画] (学内授業) 1. オリエンテーション、ボランティア活動の理念、ボランティア活動関係機関について 2. ボランティアの募集について、コミュニケーション及び活動時のマナー、報告の仕方について 3. ボランティア活動の中間報告 夏休み中のボランティアについての諸注意 4. ボランティア活動の振り返り、ボランティア活動の事後ディスカッション、レポートの作成 5. ボランティア活動の報告会 その他、個別にボランティア活動時間の確認、報告などの指導			
[成績評価方法] 各活動での事前準備、報告書(10%)、ボランティア活動時間30時間分(60%)、5コマ分の授業で指示される提出物やレポート(30%)で評価します。			
[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートに対する講評を返却します。			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[メールアドレス] 古田 kfuruta@kwjc.kobe-wu.ac.jp メール本文に学科・学籍番号・氏名・授業名と質問事項等を記入してください。			

通年	実技	1 単位
----	----	------

授業科目名 (副題)	ボランティアの実践 (新しい自分を発見するために)
担当者	古田 貴美子
[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養3-1】主体的に社会参画を果たそうとする自立心を身に付けている。 成績評価方法: 報告書、レポート [テキスト(ISBN)] [参考文献(ISBN)] 書籍名: ボランティア活動をデザインする 著者名: 田中 雅文／編著 出版社名: 学文社 ISBN: 9784762024054 書籍名: いちばんはじめのボランティア 著者名: 小野常明 松藤和生 編著 出版社名: 樹村房 ISBN: 88367-109-7	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	ボランティアの実践 (新しい自分を発見するために)		
担当者	竹内 美貴		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他			
[到達目標] ボランティア活動への責任感と、社会での実践的なコミュニケーション力を身に付けることができる。 [授業概要] 1年間の通年授業です。1年間で30時間以上のボランティア活動を実施することで、1単位を取得できます。対象となるボランティア活動は、学校から紹介されるもの、クラブ活動の中で行われるもの、地域連携推進委員会が募集するもの、居住地域での活動等のいずれでもよろしいですが、授業担当者の認定したものに限りま。そうした様々なボランティア活動を行うことで、その意義と価値について学びます。 他者のためより自分の勉強のためということを忘れず、謙虚さを失わずに取り組む姿勢が大切です。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] ボランティア活動の前に準備をしてください。自分が手伝う行事やイベントの主催者、目的や参加者等を調べ、当日の自分の役割を知り、心構えをしてください。活動後は、行動を振り返り、報告書を提出してください。 [授業計画] 1.オリエンテーション(ボランティア活動の理念) 2.今後のボランティア活動について 5月の活動の募集、事前指導 3. 6月のボランティア活動の募集、事前指導 4. 7月のボランティア活動の募集、事前指導、及び5月の活動の事後指導 5. 8月、9月のボランティア活動の募集、事前指導、及び6月の活動の事後指導 6. 後期のボランティア活動について 募集と事前指導、及び7月8月の活動の事後指導 7. 11月のボランティア活動の募集、事前指導、及び10月の活動の事後指導 8. 12月のボランティア活動の募集、事前指導、及び11月の活動の事後指導 9. 1月以降のボランティア活動の募集、事前指導、及び12月の活動の事後指導 10. ボランティア活動の振り返り、レポートの作成 [成績評価方法] 各活動での事前準備、報告書(30%)、ボランティア活動時間(60%)、5コマ分の授業で指示される提出物やレポート(10%)で評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ボランティアに行くごとに提出された報告書は、「ボランティアの実践まとめ」とともに、後日添削して返却します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] mozawa@kwjc.kobe-wu.ac.jp 質問等がある場合は、メール本文に学科名・学籍番号・氏名・授業名を記載し。質問事項等を記入してください			

通年	実技	1 単位
----	----	------

授業科目名 (副題)	ボランティアの実践 (新しい自分を発見するために)
担当者	竹内 美貴
[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養3-1】主体的に社会参画を果たそうとする自立心を身に付けている。 成績評価方法: 各活動での事前準備、報告書(30%)、ボランティア活動時間(60%)、5コマ分の授業で指示される提出物やレポート(10%)で評価します。 [テキスト(ISBN)] [参考文献(ISBN)]	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	ボランティアの実践 (新しい自分を発見するために)		
担当者	松岡 恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他			
[到達目標] ボランティア活動への責任感と、社会での実践的なコミュニケーション力を身に付けることができる。 [授業概要] 対象となるボランティア活動は、学校から紹介されるもの、クラブ活動の中で行われるもの、地域連携推進委員会が募集するもの、居住地域での活動等のいずれでもよろしいですが、授業担当者の認定したものに限りです。 1年間の通年授業です。1年間で30時間以上のボランティア活動を実施することにより、1単位を取得できます。自分自身の学びのためということを忘れず、謙虚さをもってボランティア活動に望んでください。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] ボランティア活動の前には、自分が手伝う行事やイベントの主催者、目的や参加者等を調べて当日の自分の役割を知るなどの心構えと準備をしてください。活動後には自らの行動を振り返り、活動ごとに報告書を作成し、提出してください。 [授業計画] (学内授業) 1.オリエンテーション、ボランティア活動の理念、ボランティア活動関係機関について(4/○()) 2.ボランティアの募集について、ボランティア活動の中間報告、夏休み中のボランティアについての諸注意(7/○()) 3.コミュニケーションおよび活動時のマナー、報告の仕方について(10/5(土)) 4.ボランティア活動の振り返り、ボランティア活動の事前・事後ディスカッション、レポートの作成(11/○()) 5 ボランティア活動の報告会(1/○()) その他、個別にボランティア活動時間の確認、報告などの指導 [成績評価方法] 各活動での事前準備、ボランティア活動報告書(10%)、30時間以上のボランティア活動時間分(60%)、レポート(30%)で評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ボランティアに参加する都度、ボランティア先の責任者にサインをもらい、「参加報告書」の作成をし、ボランティア時間をカードに記入しておいてください。「参加報告書」は長期休みの期間を除いてボランティア参加後原則2週間以内に授業者に提出してください。年間5回の対面授業と、ボランティアに参加後に提出される「参加報告書」で確認し、フィードバックを行います。受講生はボランティア活動時間の累計が30時間以上になるまで各自、「報告書」を積み上げます。 最終課題は、短大生活におけるボランティアへの取り組みのまとめを提出します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] m-matsuoka@kwjc.kobe-wu.ac.jp 質問などがある場合には、メール本文に、学科名・学籍番号・氏名・授業名を記載し、質問事項などを記入してください。			

通年	実技	1 単位
----	----	------

授業科目名 (副題)	ボランティアの実践 (新しい自分を発見するために)
担当者	松岡 恵
[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養3-1】主体的に社会参画を果たそうとする自立心を身に付けている。 成績評価方法: ボランティア活動時間数・内容・取り組みの姿勢(対面授業も含め)、及びボランティア参加ごとに提出される「参加報告書」と最終課題レポートの内容 [テキスト(ISBN)] [参考文献(ISBN)]	